

## ほ場条件の良い時期に 中耕・培土を実施しましょう！

5月下旬の梅雨入りで播種作業の停滞も見られましたが、6月後半の適期に播種できたほ場では、1回目の中耕・培土の作業時期になっています。

本年は降雨の影響で畝間に滞水しているほ場がみられます。ほ場条件が悪いなか、中耕・培土作業を無理に実施すると、**収量・品質の低下**に繋がります。

気象状況に応じて、**ほ場条件の良い時期に中耕・培土作業を行いましょう！**

### 中耕・培土による効果

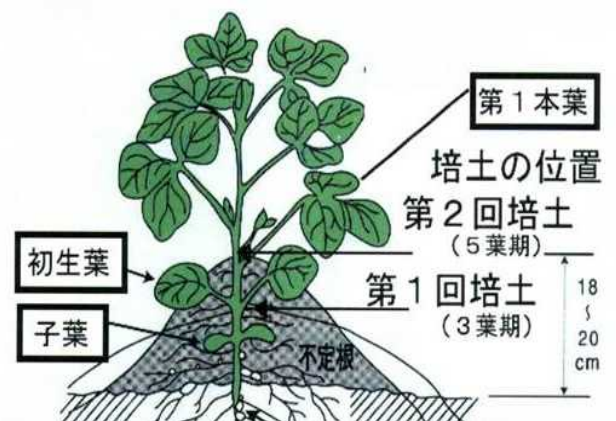
- ① 雑草の発生を抑制
- ② 根粒菌や根の活性の向上
- ③ 生育後期の養水分吸収率の増加
- ④ 排水性の向上
- ⑤ 倒伏発生リスクの軽減



### 中耕・培土を行う時期

作業が遅れると根を傷めてしまうため、**開花期1週間前までに2回行うこと**を目標にしましょう！

開花期1週間前までに2回目の作業が行えない場合は、**無理をせず1回の中耕・培土作業**としましょう。



- 1回目：本葉2～3枚の頃に子葉が隠れる位置まで
- 2回目：本葉4～5枚の頃に初生葉が隠れる位置まで

コンバイン走行の安定性や収穫時の土かみによる品質低下を防ぐため、**2回目終了時の培土の高さを18～20cm程度**にとどめておきましょう。